

2024年8月

第167号

# ぱれっと



㈱北日本ベストサポート  
TEL. 018-883-1888

## 「二つの選挙」

7月7日には東京都知事選挙が行われ、米国では今年12月に大統領選挙人が各州で確定し大統領が決定する。これまでバイデン大統領が民主党から再選を目指してきており、共和党では前大統領だったトランプ氏が名乗りを上げており両者の対決とみられていたが、バイデン大統領は討論会などで失言などを繰り返して7月21日に大統領選挙から撤退しハリス副大統領を支持する旨の声明を発表した。

まず、東京都知事選挙の話題から見てみたい。東京都知事選挙投票日は7月7日である。蓮舫参議院議員(56才)は5月27日いち早く立候補の態度を明らかにした。「裏金事件『政治とカネ』の自民党政治の延命に手を貸す小池都政をリセットする。その先頭に立つのが私の使命だ」と狼煙を上げた。一方、小池知事は都議会終了まで立候補の態度を表明せず、職務に専念する姿勢をとり続けた。6月20日告示日には小池知事の他、さらに、元広島県安芸高田市長の石丸伸二氏(41才)が「政治の見える化」を訴え立候補した。

結果は小池知事が291万票、石丸候補が165万票、蓮舫候補が128万票を獲得し小池氏が現職の強みを発揮し圧勝した。今回の選挙では蓮舫氏がいち早く名乗りを上げ立憲民主党と共産党が支援したが「立憲共産党」と揶揄されるなど若者や浮動票獲得にいたらず三番手となった。二番手の石丸氏は若さと SNS の効果的活用で注目を集めた。小池知事はこれまで8年間の政策実現を訴え選挙上手の印象を受けた。

今回の選挙では50数人が立候補し、事前に準備した選挙用ポスター掲示板が不足したり、その掲示板が選挙と全く関係のない人へ売却されたり、選挙カーで演説が始まると大挙して押しかけ拡声器で演説が聞き取れないように妨害するなどこれまでにない悪質な行為が見られ選挙制度の改革が求められている。

一方、米国ではバイデン大統領が次期大統領選挙に立候補しないと正式に表明したため、民主党内部では大統領候補を新たに選出しなければならない事態となっているが、バイデン氏は副大統領のハリス氏を指名している。ハリス氏は黒人で女性であり、これまで副大統領としての成果をやや疑問視する向きもあり、すんなりと民主党内部をまとめられるか注目されている。

これまで、共和党のトランプ前大統領はバイデン大統領が高齢で判断能力にも欠けると攻撃してきたが、ハリス氏は59歳、カリフォルニア州で司法長官を務め女性で二人目の上院議員となるなどトランプ前大統領との討論会などが注目される。これまでトランプ氏がバイデン大統領の高齢を危惧する発言を繰り返してきたが、今度は若い女性と対決するとなると、予想外の議論が展開される可能性もあり世論調査でもポイントが高くなっており動向を注視していきたい。

## ロダンの生き方

ロダンを見よ。ロダンは1864年「鼻のつぶれた男」を初めてサロンに出品して世に現れようとしたが、落選し、次の「青銅時代」の作品まで出品をせず、実はその間13年ひたすらに自己に閉じこもり、時流におもねらず、一徹に自己透徹の精進をつづけるのである。

彼の求めるものは真実そのものであり、美そのもので、彼の道は常に孤独で、これは栄光の座について後も少しも変わらず終生、彼は初心者として学ぶ素朴さと謙虚さを失わなかった。

芸術にとって「大切なことは、感激することであり、愛することであり、望むことであり、戦慄することであり、生きることである」と彼は言った。

まさにその通りである。



## 自然の奥深さにふれる

「芸術家にとって、何が大事かといっても、自然の姿、自然の心そのものにふれるほど大切なことはない。

芸術とはいわばそういうものであろう。笑ったり、泣いたりするのは顔だけでなく、手も笑い、手も泣き、また足も笑い、足もまた泣くのだ。

美はいたる所に満ちあふれている。

だがそれを読み取り、感じることのできる眼は案外に少ないのだ」（ロダン）

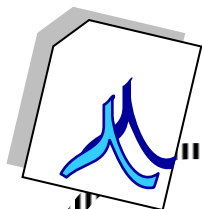
## ルオーの歩き方

ご承知のとおり、ルオーの絵は画面が浮かび上がっている。

それほど彼はけずっては足し、けずっては足し殆ど彼の画には完成という事がないかと思われるほどであります。

けずっては塗り、けずっては塗るルオーの歩き方などは、一見まことに平凡に見えます。しかし、そうして10年も経つと一枚の絵がやはり本人自身も感心するようないい絵になる。

これなども、いかにも独創の一面を暗示しているように思われるのであります。



## 平田 篤胤 (江戸時代後期の国学者・神道家・思想家・医者)

- 安永5年8月24日(1776年) 久保田藩の大番組頭であった大和田清兵衛祚胤の4男として現秋田市中通で誕生。
- 寛政7年1月8日(1795年) 20歳で脱藩・出奔し江戸へ出る。  
江戸では大八車を引いたり、飯炊きや三助、火消しなど苦学しながら最新の学問、特に西洋医学・地理学・天文学を学んだ。
- 寛政12年(1800年) 25才、備中松山藩士山鹿流兵学者であった平田藤兵衛篤穂(あつやす)の目にとまり、才覚を認められて、その養子となった。
- 享和3年(1803年) 本居宣長没後2年、妻所有の本、宣長の国学に目覚め、「宣長没後の門人」と自称した。  
太宰春台「弁道書」を批判した処女作「啊妄書」を著し、以降膨大な量の著作を発表。
- 文化3年(1806年) 私塾、真菅乃屋で門人をとっている。  
門人は3人から後に553人に達した。
- 文化10年(1813年) 対露危機に関し情報を集め「千島白浪」を編纂、ロシア情報獲得のためロシア語辞書の編纂をした。
- 文化12年(1815年) 秋田県羽後町出身佐藤信淵が入門した。
- 文化13年(1816年)~  
文政6年(1823年)の間 関東・関西を遊歴し伊勢神宮では念願の宣長の墓参を果たした。
- 天保12年4月5日(1841年) 秋田に帰着。久保田藩士となる。門人70人。
- 天保14年9月11日(1843年) 久保田城下亀ノ丁で病没。享年68才。  
この時点で門人は553人を数えた。

### オススメの BOOK



#### 『文章は「形」から読む』(ことばの魔術と出会うために)

著者 阿部 公彦 発行 集英社新書

著者は1966年生まれ。現在、東京大学文学部教授。専門は英米文学。外国文学の訳書、のほか著書に「名作をいじる」「小説的思考のススメ」「病んだ言葉 癒す言葉 生きる言葉」などがある。

本書は「学習指導要領」「料理本を読む」「広告を読む」「断片を読む」「小説を読む」など、その他様々な文書の「顔」の見方を解説する。

## 職場の熱中症を防ぐために

夏に向かって、暑い日が多くなってきました。厚生労働省は5月から9月まで、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施しています。

厚生労働省は、労働災害防止団体などと連携し、企業に熱中症予防の周知・啓発を集中的に行っています。ポイントは3つ。

- ① 暑さ指数（WBGT）を把握し、指数に応じた熱中症予防策を適切に講じる
- ② 作業を管理する者および労働者に、あらかじめ労働衛生教育を行う
- ③ 糖尿病、高血圧症などの疾患がある人に、医師等の意見をふまえ配慮する

①前日のチェック	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事前日の飲酒は控えめに
	<input checked="" type="checkbox"/> くっすり眠る
	<input checked="" type="checkbox"/> 熱中症警戒アラートの確認
②仕事前のチェック	<input checked="" type="checkbox"/> よく眠れたか
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事をしたか
	<input checked="" type="checkbox"/> 体調は良いか
	<input checked="" type="checkbox"/> 二日酔いしていないか
	<input checked="" type="checkbox"/> 熱中症警戒アラートの確認
③仕事中のチェック	<input checked="" type="checkbox"/> 単独作業を避け、声をかけ合う
	<input checked="" type="checkbox"/> 監督者は現場パトロール
	<input checked="" type="checkbox"/> 水分・塩分の補給
	<input checked="" type="checkbox"/> こまめに休憩

熱中症の効果的な予防法として、厚生労働省は左記のチェックを勧めています。

また、職場での熱中症による死亡者と休業4日以上の上業務上疾病者の数は、2023年に1,045人に上りました。うち死亡者は28人です。

熱中症に伴う労働災害は、被災した労働者や家族はもちろん、補償などの面で企業にも多大な影響を与えかねません。

毎年、夏には必ず熱中症のリスクが高まります。本格的な暑さを迎える前に、今から職場の熱中症対策に取り組んでみてはいかがでしょうか。

（厚生労働省 熱中症ガイド）



### 【編集後記】

パリでオリンピック・パラリンピックが開催される。世界中が喧騒としている中、友情の輪を広げる大会になって欲しい。日本の代表選手たちからは、自分を乗り越えたいと力強い挑戦の声が多く聞かれた。

甲子園では高校野球全国大会が開催される。全力で挑戦するスポーツ選手の活躍はテレビ観戦を通して応援している多くの人達に感動と勇気を与えてくれる。

自分の持てる力を存分に発揮して悔いのない戦いをして欲しい。そこに感動のドラマが生まれる。